



テクニカル・インフォメーション  
Bayonet I / SL 取扱説明書

バージョン 2.0



ライトウェイプロダクツジャパン(株)は国際標準化機構(ISO)が定める  
「環境マネジメントシステム規格」ISO14001 認証取得企業です。



ライトウェイプロダクツジャパン株式会社

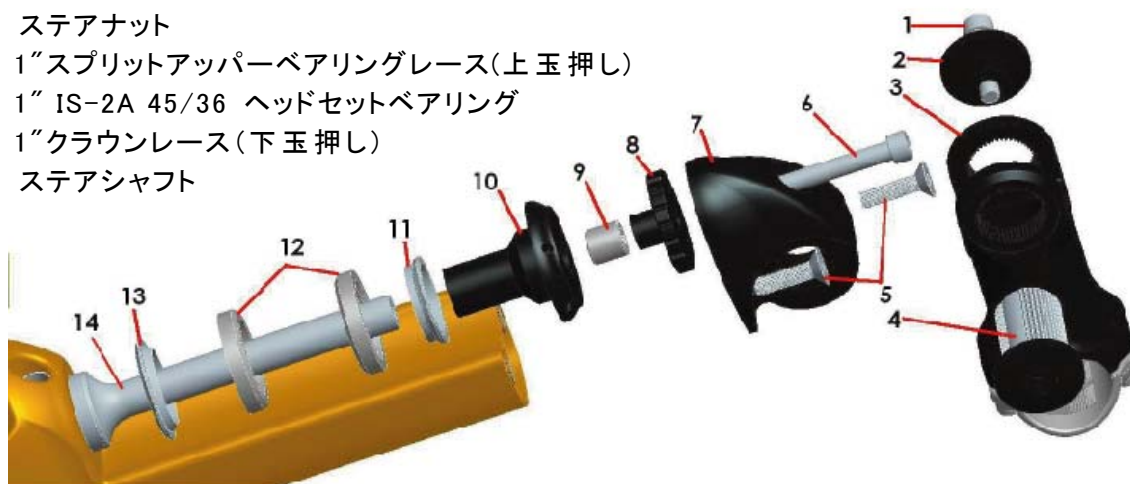
〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-34池袋シティハイツ102

TEL.03-5950-6002 FAX.03-5956-8028

### 必要なパーツ類:

- Bayonet フォーク :1
- Bayonet ステムベース/トップクラウン:1
- ステアナット:1
- ステアロックスクリュー:1
- M6 x 30mm ボルト:1
- M6 x 60mm ボルト:1
- M6 皿ネジ:2
- Bayonet ステムエクステンション:1
- Bayonet ステムナックルアセンブリー:1
- インテグレート1"ヘッドセット:1
  - ・ アッパーベアリングレース :1
  - ・ ロワーベアリングレース :1
  - ・ 45x36 IS スタイルベアリング:2

- 1) M6 x 30mmボルト
- 2) ナックルエンドキャップ
- 3) ステムエクステンション
- 4) スプラインシャフト/ナックル
- 5) M6 皿ネジ
- 6) ロングM6 x 60mmボルト
- 7) ステムベース/トップクラウン
- 8) ステア長調整小物
- 9) ステアロックスクリュー
- 10) ステアナット
- 11) 1"スプリットアッパーベアリングレース(上玉押し)
- 12) 1" IS-2A 45/36 ヘッドセットベアリング
- 13) 1"クラウンレース(下玉押し)
- 14) ステアシャフト



### 備考:

FELT Bayonetフォーク/ステムシステムの取扱説明書は各仕様完成車、フレームセットに付属しておりますが、メンテナンス作業が必要と思われるときにはFELT正規販売店にて作業をしてもらうことをお勧めいたします。

ステップ1) ⑬クラウンレース(下玉押し)を通常の他のフォークと同様に Bayonet フォークの⑭ステアシャフトに取り付けて下さい。(図.1参照)



図. 1

ステップ2) ⑫1”ISベアリングの一つをフォークの⑭ステアシャフトに取り付けて Bayonet フォークをフレームに組み付けて下さい。(図.2参照)



図. 2

ステップ3) ⑪スプリットアッパーベアリングレース(上玉押し)を⑩ステアナットに取り付けて下さい。

(図.3参照)

⑪ スプリットアッパー  
クラウンレース

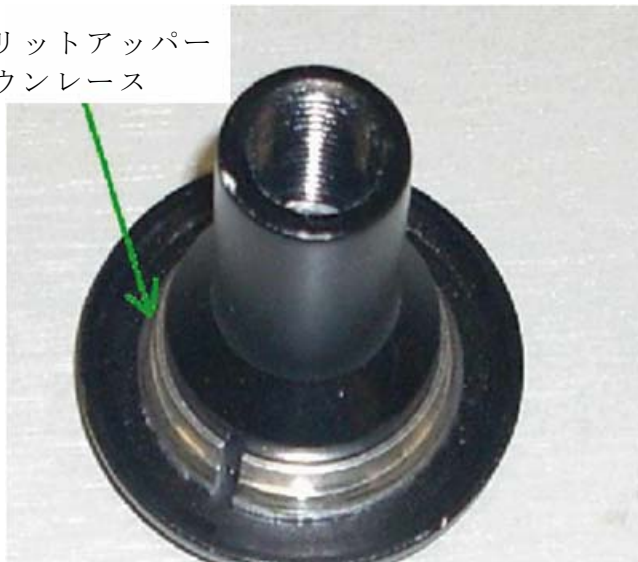


図.3

ステップ4) もう一つの⑫1"ISヘッドセットベアリングをフレーム側の上ワンに取り付け、その後から⑭ステアシャフトに⑩ステアナットを取り付けて下さい。アルミ素材のネジ部分には必ず焼き付きを防止する為のコンパウンド(グリス等)を塗布して下さい。

上側のベアリングに当たるまで⑩ステアナットを回して締めて下さい。これは通常のアヘッド式ヘッドセットと同様な作業でヘッドセットのベアリング固定のプリロードを調整します。(図.4参照)



図.4

ステップ5) 6mm 六角レンチを使用して⑨ステアロックスクリューを⑩シャフトナットに⑭ステアシャフトの上部分に当たるまで回して締めて下さい。  
この作業の前にステップ4)でしっかりとベアリングのプリロードが調整されている必要があります。⑨ステアロックスクリューを締めるとヘッドセットのベアリング圧を固定します。(図.5参照)



図.5

ステップ6) ⑧ステア長調整小物を⑩ステアナットに取り付けて下さい。  
アルミ素材のネジ部分には必ず焼き付きを防止する為のコンパウンド(グリス等)を塗布して下さい。ゆっくりと手で回して締めて下さい。  
きつく締める必要はありません。  
⑧ステア長調整小物の上部はフォークの上部よりも少し低い位置になっていることを確認して下さい。(図.6参照)



図.6



ステップ7) ⑦ステムベース/トップクラウンを取り付けて下さい。(図.7参照)

⑧ステア長調整小物と  
⑦ステムベース/トップ  
クラウンの間に隙間が  
あることを確認。



⑤M6 皿ネジを⑦ステム  
ベース/トップクラウン  
に取り付ける。

図. 7

ステップ8) ⑧ステア長調整小物を⑦ステムベース/トップクラウンに当たるまで回して下さい。⑧ステア長調整小物は⑦ステムベース/トップクラウンを支えるように機能します。(図.8参照)

**重要な手順: 注意して作業して下さい。**

⑧ステア長調整小物と  
⑦ステムベース/トップ  
クラウンの間に隙間が  
ないことを確認。



⑧ステア長調整小物が  
⑦ステムベース/トップクラウン  
を支えるように回して調整。

図. 8

ステップ9)

⑥ロングM6x60mmボルトを⑦ステムベース上部から挿入して下さい。  
この部品がヘッドセット調整の最後の取り付け部品でヘッドセット関連の部品  
すべてを固定します。(図.9参照)



図. 9

ステップ10)

③ステムエクステンションを⑦ステムベースに取り付けて下さい。  
次に④スプラインシャフト/ナックルを⑦ステムベースと③ステムエクステンション  
に挿入して下さい。このときにステムベース側の溝とスプラインシャフト/ナック  
ル側の溝が沿うように注意して挿入して下さい。ステムエクステンションを正しく  
取り付ける為と次のステップ12)での作業を正しく行うためにこの手順に注意  
して下さい。またこの手順で③ステムエクステンションの取り付け角度を固定し  
ますので④スプラインシャフト/ナックルを挿入する前に再度ステムの取り付け  
角度を確認して④スプラインシャフト/ナックルを挿入して下さい。

(図.10参照)

**注 意:**

**④スプラインシャフト/ナックルを挿入  
するのにハンマー等は必要ありません。**



図. 1 0

ステップ11)

④スプラインシャフト/ナックルが正しく③ステムエクステンションと⑦ステムベースに取り付けられた状態で②ナックルエンドキャップを付属の①M6x30mmボルトで固定して下さい。(図.11参照)



図. 1 1

ステップ12) 一部の2008モデルと全ての2009年モデルに適応  
(必要のないモデルがあります。)

Bayonet フォークシステムの最終調整手順として一部に⑦ステムベースにセットスクリューを取り付ける必要があります。この手順で④スプラインシャフト/ナックルが正しく固定されます。(図.12参照)



図. 1 2